

公益財団法人 矢野恒太記念会 概要
 ＝ 70周年 ＝



2022年7月

公益財団法人矢野恒太記念会は、第一生命保険の創立者であり、生命保険事業の発展に偉大な功績を残すとともに、統計の普及、公衆衛生や社会教育の向上、農業の振興など各方面において多大な貢献をした矢野恒太の事績を顕彰し、その思想の普及に努めるため各種の記念事業を行っております。

具体的な事業としては、統計データブックの編集・刊行を中心とした『統計の普及・啓発事業』、青年農業者に対する『表彰事業』、及び大学院生や高校生を対象とした『奨学金事業』等を実施しております。



矢野恒太翁

財団法人 矢野恒太記念会 設立趣意書

(1952年12月)

生命保険界の鬼才故蒼梧矢野恒太翁がそのかねての理想たる相互主義（非営利の実費主義）に基づいた生命保険を創設して以来既に50年を経過した。その間保険契約者の負担の軽減を目的に終始日本の生命保険事業の発達に尽瘁したが、戦後多数の会社が第二会社を設立するや、生命保険事業の理想の形として、ほとんどの会社がその組織を相互会社に改めて新発足するに及び、ここに文字通り翁の理想が実現される事となった。

又翁は常に一般国民が数字に親しまぬ事を嘆じ、生活の科学化能率化という点から、誰にでも親しまれる簡単な諸数表を刊行し、簡単な数理統計の普及に尽力した。

更に翁は力を公衆衛生の発達特に結核の撲滅に尽くし、この方面からも社会文化の向上国民文化の発達に尽くした功は大である。ここに故矢野翁の偉業を顕彰し、翁がその一生を捧げた相互主義の研究並びにその援助を行い、生命保険の数理統計等学術の普及発達を通じ、国民文化の向上発展に資せんとして本財団を設立せんとするものである。

矢野恒太記念会の設立

前掲の設立趣意書にもありますとおり、矢野恒太はわが国の生命保険に初めて相互組織を導入し、第一生命保険相互会社を創立しましたが、保険業界のみならず、統計、公衆衛生、社会教育、農業振興など、各方面にも偉大な功績を残されました。

恒太が1951年9月23日、85歳8ヶ月の高齢で逝去された後、恒太の事績を顕彰するため、1953年3月17日「第一生命創立50周年記念事業」として当財団が設立され、本年は70周年年度に当たります。

なお、当財団は2008年12月に施行された公益法人改革関連3法に基づく公益認定を受け、2011年4月1日付にて公益財団法人に移行いたしました。

因みに第一生命は2010年4月1日に株式会社化と同時に東京証券取引所第一部に上場して、2016年10月1日に持株会社体制となり、2022年4月4日には東京証券取引所の市場再編によりプライム市場に移行しています。

設立当初の役員	〈従事した主な役職〉
理事長 石坂 泰三	[第一生命・東京芝浦電気(東芝)社長、経団連 会長]
理事 森村 市左衛門(開作)	[日本陶器(ノリタケ)、日本碍子 経営者]
理事 服部 玄三	[服部時計店・精工舎(セイコー)社長]
理事 稲宮 又吉	[静岡新聞社 会長]
理事 矢野 一郎	[第一生命 社長]
理事 鈴木 敏一	[第一生命 副社長]
理事 金井 滋直	[興国人絹パルプ(興人)社長]
監事 篠原 三千郎	[東京急行鉄道(東急電鉄)社長]
監事 濱口 吉兵衛(麟蔵)	[銚子醤油(ヒゲタ醤油)会長、第一生命 社長]

(1953年3月17日設立)

公益財団法人矢野恒太記念会の事業活動

当財団では、定款に定められた次の事業を実施しております。

1. 統計普及・啓発事業

- (1) 矢野恒太は生前「日本国勢図会」を始め「金利精覧」「ポケット論語」「一言集」など数多くの著書を著し、特に「日本国勢図会」は画期的な統計書として評価されました。当財団では故翁の精神を永く伝承するため、「日本国勢図会」を始め、毎年4種類の統計書の刊行・編集を中心に、統計の普及・啓発に寄与する事業を行っております。
 - ① 「日本国勢図会」 1927年初版発刊 毎年6月発行（年刊）
矢野恒太が教育への思いを形にして1927年に創刊以来、95年に亘り版歴を重ねています。日本を概括する広範な統計と平易な解説により、教育分野において広く活用されているばかりでなく、一般にも参考書・教養書としても数多く購読されています。
(2022年6月 第80版発行)
 - ② 「世界国勢図会」 1985年初版発刊 毎年9月発行（年刊）
「日本国勢図会」の国際統計版として、主要な分野における各国の統計データを多数収集し解説を加えることで、国際社会の情勢や各国の地位を把握できるように編集しています。
(2021年9月 第32版発行)
 - ③ 「データでみる県勢」 1988年初版発刊 毎年12月発行（年刊）
「日本国勢図会」の地域統計版として、豊富な都道府県統計を明らかにし、都道府県毎の特徴の比較を可能にするとともに、市町村に関する基本的な統計を付加することで、各自治体と地域の情勢を明らかにしています。
(2021年12月 第31版発行)
 - ④ 「日本のすがた」 1970年初版発刊 毎年3月発行（年刊）
「日本国勢図会」のジュニア版として、主に小学校高学年から中学生向けの社会科資料集として、統計資料に基づいた総合的な内容を具備しています。簡潔で分かりやすい解説を加えており、若年層からシニア層まで幅広い読者層に支持されています。
(2022年3月 第53版発行)
 - ⑤ 「数字でみる日本の100年」 1981年初版発刊（不定期刊行）
「日本国勢図会」の長期統計版として明治以降の統計を掲載し、経済産業活動の変遷・社会の変化を示しています。
(2020年2月 改訂 第7版発行)

(2) 在外教育施設への統計データブックの贈呈

海外教育施設（全日制日本人学校、補習授業校および私立校）に対し、不足しがちな日本語の社会科教材資料を補完するため、1986年より毎年「日本国勢図会」「日本のすがた」「世界国勢図会」の3図書を寄贈し、海外子女教育活動を賛助しています。

2021年度は、223校に合計1,448冊の書籍を寄贈しました。

地域別：アジア45校、オセアニア11校、北米71校、中南米21校、欧州59校、中近東12校、アフリカ4校

(3) 統計関連団体への出捐

日本国内における統計の普及・啓発を図る事業への賛助を行っています。

①戦後、政府の統計委員会・統計審議会委員長として尽力された「大内兵衛博士」の業績を記念し、統計の進歩や統計知識の普及に貢献した個人、団体を顕彰することを目的に、1953年に創設された『大内賞（主催 大内賞委員会）』に対し、創設当初から賛助金を出捐しています（10万円）。

②統計の普及と統計の表現技術の研鑽を図るため、全国の小学生、中学生、高校生等を対象に1953年から毎年実施されている『統計グラフ全国コンクール（主催：公益財団法人 統計情報研究開発センター）』の各部門入賞者に対し、賞金ならびに副賞（総額約40万円相当）を贈呈しています。

2. 表彰・奨学金事業

(1) 表彰事業

『矢野賞』

矢野恒太は、我が国農業の振興に深い関心を寄せ、農村子弟に実際に即した農業知識を授けたいとの念願から、私財を投じ1934年郷土岡山県に三徳塾を設立しました。

現在これらの施設は岡山県に引継がれておりますが、当財団は矢野恒太の遺志を継承して、1954年以降、岡山県において農業の振興に貢献した青年農業者に『矢野賞』を贈呈しその功績を表彰しています（賞金100万円）。

1954年第1回表彰から2021年第68回表彰までに、合計224名の方々が矢野賞を受賞されています。

(2) 奨学金事業

① 『岡野敬次郎博士記念奨学金』

保険業法の制定や第一生命の設立に際し、多大な協力者であった岡野敬次郎博士（商法学者・旧農商務省勅任参事官、後司法大臣・文部大臣）の遺徳を顕彰するため、1954年に本奨学金制度を設け、博士が教鞭を執られた東京大学と中央大学の大学院法科研究生各3名に、奨学金を支給しています（各人年額60万円）。

② 『池田謙三翁記念奨学金』

第一生命の設立に際し協力し、その初志達成に尽力された池田謙三翁（旧第百銀行頭取）の遺徳を顕彰するため、1957年に本奨学金制度を設け、故翁の出身地である兵庫県出石町所在の兵庫県立出石高校2年生並びに3年生生徒10名に、奨学金を支給しています（各人12万円）。

3. 矢野恒太と所縁のある関連農業団体への支援事業・関連施設の維持・管理

(1) 「恒心会」及び「三徳園友の会」への支援

「恒心会」は、矢野賞、三徳賞、新三徳賞の受賞者を会員として組織されています。また、「三徳園友の会」は、恒心会及び三徳塾同窓恒親会の会員で、かつ矢野恒太の三徳塾開設の精神を顕彰するという目的に賛同するものを会員として構成されています。

これらの団体は岡山県当局との連携・後援の下、会員相互の研鑽や若手育成の為の研修会の開催等を通じ、地域農業の振興・活性化に貢献しています。

当財団は両会からの申請に基づき、年次総会や研修会の費用の一部を補助しています。

(恒心会宛35万円、三徳園友の会宛50万円)

(2) 「三徳塾同窓恒親会」への支援（『新三徳賞』表彰事業）

「三徳塾同窓恒親会」は、三徳塾卒業生等を会員として構成されています。当財団では、1954年から1964年まで三徳塾卒業生を対象に優秀な農業青年を「三徳賞」として表彰してまいりましたが、同塾が岡山県立農業大学校に併合されたことに伴い「三徳賞」は「矢野賞」に吸収されました。

1998年より三徳塾同窓恒親会・岡山県当局からの要望を受け『新三徳賞』として復活し、それ以降、同塾卒業生の中で永年農業に携わり現在も優れた実績を上げている方を表彰しています。

1998年度の第1回表彰から2021年度の第24回表彰までに、47名の方々が受賞されています。

(3) 生誕地等、諸施設の維持管理

①岡山県所在の矢野恒太の生家跡地及び先祖墓所等の維持管理を行っています。

②矢野恒太及び池田謙三翁の墓所管理を行っています。

理事・監事・評議員等

(1) 歴代理事長

	氏 名	在 任 期 間
初代	石 坂 泰 三	1953年 3 月～1975年 3 月
二代	矢 田 恒 久	1975年 3 月～1982年 3 月
三代	牧 山 公 郎	1982年 3 月～1987年 6 月
四代	有 馬 八 郎	1987年 6 月～1998年 6 月
五代	山 口 隆 司	1998年 6 月～2005年 6 月
六代	須 田 明 夫	2005年 7 月～2009年 6 月
七代	村 上 公 平	2009年 7 月～2013年 6 月
八代	森 田 富 治 郎	2013年 6 月～2020年 6 月
九代	斎 藤 勝 利	2020年 6 月～

(2) 歴代常務理事・専務理事

	氏 名	在 任 期 間
初代	鈴 木 敏 一	1953年 3 月～1954年 6 月
〃	白 崎 享 一	1953年 5 月～1960年 3 月
二代	佐 藤 菊 太 郎	1954年 6 月～1968年 3 月
〃	赤 井 琢 市	1960年 3 月～1962年 6 月
〃	福 室 泰 三	1962年 6 月～1972年 3 月
三代	伊 藤 榮 一	1968年 3 月～1977年 6 月
〃	石 村 清 雄	1972年 3 月～1987年 6 月
四代	濱 田 陸 男	1977年 6 月～1987年 6 月
五代	市 川 武 則	1995年 6 月～2000年 5 月
六代	北 島 卓 雄	2000年 5 月～2005年 6 月
七代	木 村 喜 久 男	2005年 7 月～2007年 6 月
八代	滝 口 和 幸	2007年 7 月～2013年 6 月
九代	有 働 洋	2013年 6 月～2016年 6 月
十代	浅 倉 昭 彦	2016年 6 月～2021年 6 月
十一代	※前 田 和 男	2021年 6 月～

※専務理事

(3) 現在の理事・監事

(2021年7月1日現在)

理事長	斎藤勝利	理事	西澤敬二
専務理事	前田和男	理事	根道博
理事	江頭憲治郎	理事	舟岡史雄
理事	岡野學	-	-

監事	南部雅実
----	------

(4) 現在の評議員

(2021年7月1日現在)

稲垣精二	山口隆司
大橋正春	美添泰人
生源寺眞一	渡邊光一郎
福原紀彦	

(五十音順)

(5) 職員数

編集職	8名
事務職	3名

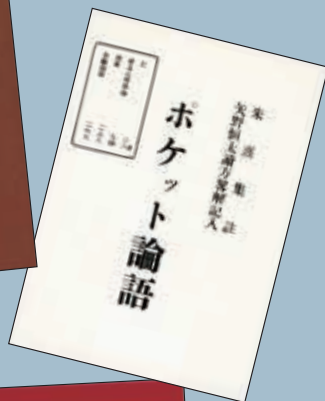
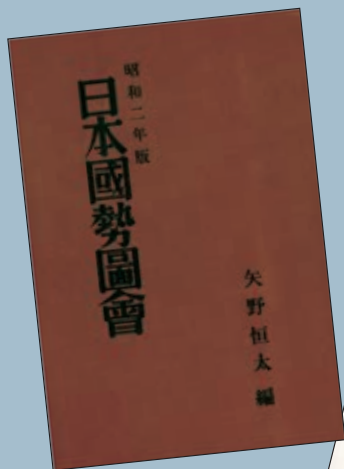
資 産 状 況 (2022年3月31日現在)

(1) 資産の区分

流動資産	130,587,618円
基本財産	17,242,390円
特定資産	2,946,120,734円
その他固定資産	1,236,740円
合計	3,095,187,482円

(2) 資産の内訳

債	券	2,811,448,480円
株	式	103,085,254円
不	動	17,242,390円
そ	の	163,411,358円
他		
合計		3,095,187,482円



公益財団法人 矢野恒太記念会

東京都千代田区有楽町1-13-1

第一生命本館内 03(5221)7404

URL : <https://yanotsuneta-kinenkai.jp>



* 当財団は2008年12月に施行された公益法人改革関連3法に基づく公益認定を受け、2011年4月1日付にて公益財団法人に移行いたしました。